第六十四回帝國議會衆議院

少年教護法案委員會議錄（速記）第十七回

會議

昭和八年三月十四日（火曜日）午前十一時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長　牧野　賤男君
理事中野勇治郎君
田中喜代松君　丸山　浪彌君
星島　二郎君　中野種一郎君
野方　次郎君　犬養　健君
荒川　五郎君　山枡　儀重君
青木　亮貫君　伊豆　富人君

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官　丹羽　七郎君
文部政務次官　東郷　實君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

兒童虐待防止法案（政府提出）

○牧野委員長　只今ヨリ會議ヲ開キマス、兒童虐待防止法案ニ付テ質問ヲ繼續致シマス――荒川君

○荒川委員　主トシテ文部當局カラ承リタイノデスガ、大體ニ於テ此兒童虐待防止ト云フ此法律ハ、見出シカラ非常ニ目障リニナッテ、折角愛護溫情ノ意ニ出タモノガ却テ感ジヲ好クシナイヤウデアリマスガ、我ガ日本ハ子供ノ國ト言ハルヽ位デアッテ、子供ノコトニハ非常ニ注意ガ屆イテ居テ、隨テ此種法律モ子供愛護ノ精神ハ大ニ善イノデアリマスガ、此名稱ヲ兒童保護法トカ何トカ云フヤウナ意味デ、愛ノ精神カラ立脚シテ、法ノ心持ヲ善意ニ現ハスコトガ、一般世間ヲシテ道德的同情的ニ導クニモ大切ダト思ヒマス、然ルニ日本ハ子供ノ國デアルノニ、虐待防止ト云フヤウナ、何ダカ亂暴ナ國ダカラ止ムナク法律ヲ以テ防止セネバナラヌト云フヤウニ聞エル名ハ、人聞キモ宜クナイト思フ、外ニ名ハ幾ラモアラウト思ヒマスガ如何デセウカ、又文部省ハ子供ノ保護トカ、虐待トカ云フヤウナコトハ、此法案ノ取締箇條デ宜シイト御認メニナルノデアリマセウカ、先ヅ大體ノ說明ヲ第一ニ承リマス

○東郷政府委員　兒童虐待防止法ト云フ此法律案ノ名前ガ、適當デナイト云フ御話デアリマスガ、是ハ之ヲ出サレル時分ニハ、文部大臣モ閣議デ同意シテ出シタモノト思ヒマスシ、特ニ文部省トシテハ、別ニ意見ハアリマセヌ

○荒川委員　此兒童ノ虐待ノ第一ハ、マダ重大ナモノガアル、此案ノ箇條ノ如キハ、私ハ問題ガ小サイト思フ、モット重大ナ虐待ガアル、此案ノ箇條ノ如キハ私ハマダ看過サレテモ差支ナイト思フ、殊ニ兒童ヲ虐待スル者ヲ、其責任者ニ訓誡ヲ加ヘルトカ言ッテ居ルガ、訓誡ヲ加ヘラレテ、ソレデ畏マルトカ、或ハ條件ヲ附シテ監護ヲ命ゼラレテ、ソレデ行ケルモノナラバ、虐待ハセヌノデアリマス、實際ノ事實ハ決シテソレドコロデハナイ、慘酷ナ目ニ遭ハシテ終ニハ死ニ至ラシメ、或ハ殺シタリスル、實ニ人生極度ノ慘酷ヲ敢テスル者ガ多イノデアリマスカラ、ソレニ對シテ單ニ訓誡ヲスルトカ、監護スルトカ云フコトハ、是ハ唯文字ノ政治デアッテ、實際生キタ人間ヤ兒童ヲ對手ノ政治デハナイト思フ、一體是ハ政府バカリデハナイ、世間ニハ多ク文字ノ政治ヲシ、文字ヲ以テ生キタ人ヲ取扱ハントシテ居ルヤウニ思ハレル、文字デナイ生キタ人間ヲ取扱フノデアッテ、是レヨリモモット非常ニ重大ナルハ、今日ノ子供全部ニ對シテ、酷イ虐待ヲシテ居ル事實ハ、政府ハ何ト見ラルヽカト言ヘバ、是ヨリ私ノ言ハントスル入學準備デアル、此位重大ナ兒童虐待ハ私ハナイト思フ、日々ノ課程スラ既ニ相當ノ荷物デアルノニ、其上學校ニ殘ッテ暮方マデモ科目ヲ強ヒラレ、中ニハ二食分ノ辨當ヲ持ッテ夜マデモ殘リ更ニ重イ宿題ヲ課セラレテ酷イ入學準備ノ勉學ヲ强イテ居ル、中ニハ朝モ一時間モ早ク出テ行ケト云フヤウナ、實ニ是ハ酷イ虐待デハナイカ、第二ニハ學科ノ問題デアリマス、學科ガ社會ニ立ツ人ノ教育ニハ、是ダケノ學科ガ要ルカラト云フ、世ノ中ノ大人ニ必要ナ科目ヲ子供ニ當テハメルノガ、今日ノ教育デアル、子供ノ能力ヲ根本トシテヤラナケレバナラヌノニ、兒童ノ能力ヲ根柢ニ置カナイデ、社會ノ必要カラ大人ニ必要ノモノヲ、子供ニ持ッテ行ッテ課シテ居ルガ、子供ハ大人デハナイノデス、是等ノ問題ハ重大問題ト思

付託議案（審査終了ノモノヲ除ク）
助產師法案（野中徹也君外二名提出）
產師法案（土屋清三郎君外三名提出）
產師法案（野方次郎君外三名提出）
產師法案（山道襄一君外三名提出）
兒童虐待防止法案（政府提出）

フノデアリマスガ、サウ云フ所カラ私ハモウ少シ兒童ガ、保護サルベキデアルト思フ、ソレカラ其次ニハ昨日モ一寸御尋シタノデアリマスルガ、是ハ內務ニ問フベキモノデモナイト思ヒマスガ、商船學校ナドモ、是ハ十四歲以下ノ、十二歲カラ商船學校ニ入レル、商船學校ニ入ル者ナドハ、是ハドウモ船ノ中、帆柱ノ上デ、非常ナ危險ヲ冒サナケレバナラヌ、尙ホソレドコロデナイ、今頃ハ海ヲ泳グヤウナ者デモ、競泳ナドヽ云フモノハ、息ガ切レルマデ否全身ガ萎エルマデモヤルコトヲ、教育ガ認メテ居ル、斯ウ云フヤウナ世間ニ虐待ハ非常ニ多イノデアリマス、非教育的ニ思ハレルノモ多イノデアリマス、私ハ此等ノ實際ヲ顧ミテ、此案ノ如キモ考ヘテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、私共ノ知ッテ居ル所デハ、輕業師カラ海軍ニ入リ、海軍デ士官マデ出世シタ者ガアル、ソレハ輕業ヲヤッタ御蔭デ、輕業デモ世ニ立ツニハ立派ニ自分ノ個性ヲ發揮シテ世ニ立チ得ルノガアル、是ハ此案ガ出ルト承ッタノデ、私ノ知人ノ海軍ノ軍人ニ問合セタラバ、曲藝曲馬ト云フヤウナモノデ子供ヲ使フガ、海軍デモ危險ナ仕事ヲ、此等ノ子供カラ來タ者ガ一番喜ンデヤル、隨テ成績モ良イト云フヤウナ話ヲ聞クノデアリマス、若シ斯ウ云フヤウナ海軍其他ノ事業ガ杜絕セラレヌ以上ハ、隨テ是等ノモノモ世ノ中カラ廢絕シテモ宜イト云フ譯ニモ行クマイト思フノデアリマスガ、ソレ等ハ船員ノ教育ナドニモ、重大ナ關係ガアルト思ヒマスガ、文部當局ハ如何ト見ラレルカ、尙ホ先ニ御尋シタノハ、此虐待防止法デ、兒童ノ保護ハ是デ宜シイノカ、他ニモ文部當局トシテハ、兒童ノ保護ニ關シテノ方法ガアルノデアルガ、研究セラレテアルノデアルカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ併セテ承リタイト思ヒマス

○東郷政府委員　學齡兒童ガ入學準備ノ爲ニ、非常ニ虐待サレテ居ルト云フ御話デアリマスガ、入學準備ヲ小學校ノ上級ノ兒童ガヤリッヽアルコトハ、是ハ事實デアリマス、而シテソレ等ノ事ノ宜シクナイト云フ意味ニ於キマシテ、文部省ト致シマシテハ、サウ云フコトノナイヤウニ通達モシ、監督モ致シテ居ル譯ナノデスケレドモ、直接ノ監督ハ地方長官ガヤッテ居ル譯デアリマスルシ、又一面カラ言ヘバ、父兄ナリガ非常ニ上ノ學校ニ行クコトヲ熱望シテ居ルノデスガ、併シ學校ノ收容力ガ總テソレニ副フ譯ニ行キマセヌシ、隨テ入學ノ競爭ガ猛烈ニナルト云ッタヤウナ事實ノアルコトモ、否ム譯ニハ行カヌト思ヒマス、但シ文部省ト致シマシテハ、御承知ノ通リ中等學校ノ入學許可ノ考査ニ付テハ、成ベクサウ云フヤウナ、兒童ニ無理ノ行カヌヤウナ方法ニ、先年來改メッヽアルノデアリマシテ、今後モ其目的ヲ貫徹スベク努力致ス積リデアリマスガ、是ハドウ言ッタッテ父兄ナリ總テノ者ガ一人殘ラズ、此趣旨ヲ體シテ行クト云フコトニマデ達シナケレバ、中々入學準備ト云フコトヲ學校デ止メテモ、或ハ家庭其他ニ於テ同ジヤウナコトガ、繰返サレルト云フヤウナコトニナルノデハナイカト考ヘテ居リマスガ、併シ何レニ致シマシテモ、斯フ云フコトガ少シデモ取除カレルヤウニ、文部省トシテハ今後モ努力致ス積リデアリマス、ソレカラ學科ノ過重ガ兒童ノ虐待ニナルト云フ御話デアリマスガ、是ハ將來國民トシテ、必要ナ學科ヲ授ケル方針ノ下ニ、文部省ト致シマシテモ研究ヲ續ケテ行ッテ居ルノデアリマシテ、ソレト同時ニ兒童ノ發育其他ニ惡影響ノナイ程度ニ科シテ行クト云フ、此趣旨モ無論合セテ考ヘテ行ッテ居ル譯デアリマス、時勢ノ進化ニ伴ッテ、學科ノ改廢其點色々ノ點ニ於テ改善ヲ加ヘッヽアルノデスガ、是モ成ベク斯ウ云フヤウナ弊ニ陷ラヌヤウニ、今後モ一層注意ヲ加ヘテ行ク積リデス、兎モ角モ文部省ト致シマシテハ、教育全體ノ內容等ニ付テ改廢革新ヲ試ミル必要ガアルノデ、御通知ノ通リ八年度ニ於テ教育調査ノ費用モ御協贊ヲ得マシテ、ソレ等ニ於テ斯ウ云ッタヤウナ教育ノ內容等ニ關スル問題モ、能ク研究調査スル積リデアリマス、ソレカラ輕業師ノ御話デアリマシタガ、是ハ只今御話ノヤウニ、或者ハ其輕業師デアッタ爲ニ社會ニ出デ、或ハ海軍ニ這入ッテ非常ニ有益デアッタト云フコトモアリマセウガ、併ナガラ大體ニ於テハ、ア、云フ事ハ取締ッテ行クコトガ必要デアルノデハナイカト、文部當局ト致シテハ考ヘテ居リマス

○山枡委員　昨日私御尋致シタノデアリマスガ、文部省ノ御方ガ御出デニナッテ居リマスカラ、此間ノ圓滿ナル解決ヲセラレタイト思フ節ガアルノデアリマス、ソレハ第二條ノ三ノ所ニ、本法ニ依テ保護セラルベキ爲ニ、兒童ヲ引取ッテ之ヲ親族其他私人ノ家庭又ハ適當ナル施設ニ委託スルコトニナッテ居ルノデス、サウスルト其委託サレタル所カラ、學齡兒童デアリマスカラ小學校ニ通學スル者ト見ナケレバナラヌ、又通學サセナイヤウデアルナラバ、委託スル必要ガナイノデアッテ、當然通學サセルコト

ガ最大ノ根本的條件デナケレバナラヌ、其場合ニ小學校令ニ依ルト、保護者ガ就學セシムベキ義務ヲ負フテ居ル、保護者ト云フノハ小學校令ノ規定ニ依ルト、親權ヲ行フ者デアリマス、親權ヲ行フ者ナキトキハ後見人デアリマス、此親權ヲ行フ者若クハ後見人カラ引離サレテ、其他ノ者ニ委託サレテ、其所カラ通學シテ居ル場合ニハ、義務教育ノ關係ニ於テ小學校長ハ、一體何人ト交涉シテ宜シイノデアルカ、自分ノ預ッテ居ル子供ヲ其委託サレタル家ノ人ト交涉シテ、協同シテ教育ヲシテ行クノデアルカ、小學校令ニ規定シタル親權ヲ行フ者ト協同シテ、教育ヲシテ行クノデアルカ、若シ委託サレタ人カラ學校ニ通學サセテ居ル場合ニ、本當ノ親權者ガ通學中ニ學校ニ出テ來テ、是ハ家ノ子供デアリマスト言ッテ伴レテ歸ッタリ、或ハ種々ソレニ干涉スル時ニ、如何樣ニスルカト云フ問題ガ起ッテ來ルノデアリマス、其場合ニ、其不法ナル親權者ノ要求トノ調和ヲ圖ル途ヲ講ジテ置ナケレバナラヌト思フガ、文部省ノ方ハ如何樣ニ相成ッテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○東郷政府委員　只今ノ御話ノ通リデ「學齡兒童保護者ト稱スルハ學齡兒童ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ親權ヲ行フ者ナキトキハ其ノ後見人ヲ謂フ」トシテアリマスカラ、其通リデアリマス、併ナガラ斯ウ云ッタヤウナ場合ニ、或ハ親權ヲ行フ者ナリ、或ハ其後見人ナリノ家庭ヲ離レテ、私人ノ家庭、或ハ其他適當ナル施設ニ委託シタ場合ニ於キマシテハ、實際問題トシテハ、其委託ヲ受ケタ者ガ學校ト能ク相談ヲシテ、親權者若クハ後見人ト同ジヤウナ義務ヲ果スヨリ外ニナイダラウ、ト斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ此法律案ダケデハナク、現在ニ於テモサウ云ッタヤウナコトハ澤山アルト思ヒマス、小學校ノ兒童ガ家庭ヲ離レテ、外ノ家庭カラ學校ニ通ッテ居ルヤウナ場合ニハ、矢張其預ッテ居ル者ガ學校ト實際ニ於テハ色々ノ聯絡ヲ取ッテヤッテ居ル、斯ウ云フコトニナルダラウト存ジマス

○山枡委員　極メテ事ガ圓滿ニ濟ム場合ニハ、ソレデ宜カラウト思フノデス、ケレドモ現在叔父サンノ家ダト云フヤウナ所カラ通學シテ居ル者ハ、本當ノ名義ハ矢張親權者ト相手ニナルコトニ、學校ノ方デハ決メテ居ルノデス、又感化法ニ依リマスル場合、或ハ少年法ニ依リマシテ委託サレルト云フヤウナコトガアル場合ニハ、ソレハ親モ何トカ良イ子供ニシテヤラウト云フ場合デアルカラ、紛爭ハ起ラヌト思フガ、私ハ子供ヲ虐待スルヤウナ親ノ場合ヲ考ヘテ居ル、隨テ本法ニ依ッテ保護サレテ、他所ニ委託サレテ居ルノデス、其子供ニ財產ヤ、色々ノ關係ガアル場合ニ於キマシテハ、是ハ子供ヲ虐待スル程ノ親デアリ、他所ニヤッテ其家庭ニハ置ケナイ程ノ親デアル、斯ウ云フ場合ニハ其預ッテ居ル先ト、親トノ間ニ問題ガ起ル虞ガアルト私ハ思フノデス、圓滿ニ行ク場合ハ何モ法律ハ必要ハナイノデアリマシテ、サウ云フ圓滿ニ行カナイ場合ノアルコトノ豫想サレ得ル場合ニハ、豫メソレヲ防禦スベキ方法ヲ講ジテ置カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト思フ、其場合ノ適當ナル、圓滿ナル處置ヲ御打合セノ上、決メテ置カレルコトガ私ハ宜カラウト思フ、玆ニ問題ガ起ッテ小學校長ガ惱ムト云フヤウナコトガナイヤウニシテ置クコトガ、私ハ宜カラウト思フカラ、申上ゲテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ圓滿ナラザル場合ヲ豫想セザルヲ得ナイノデアリマス、其場合ノコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○東郷政府委員　是ハ此法律案ニモアリマスヤウニ、地方長官ガサウ云ッタヤウナ處分ヲ爲スコトガ出來ルコトニナッテ居リマスカラ、地方長官ガ學齡兒童デアレバ、其學校ニ通フ點ニ於テハ、斯ウ〳〵云フヤウナ風ニシテ行クト云ッタヤウナコトマデ考慮シテ、適當ナ所ニ委託スル、斯ウ云フコトニ事實ナルノダト、私共ハ解釋シテ居リマス

○荒川委員　先刻文部次官ノ御說明ニ付テ、更ニ質問ヲシヨウカト思ヒマシタガ、餘リ玆デ議論メイテモ迷惑デアルト考ヘテ居リマスガ、只今山枡君ノ御質問ガアリマシタ序ニ、モウ一ッ文部ガ出テ居ル際ニ聽イテ置キタイノハ、子供ニ乞食ヲサシタリ、子供ヲ使ウテ乞食ヲスルノハ宜クナイ、宜クナイガ今日ノ文部ノ仕事デハ、乞食ヲ養成シテ居ルヤウニ考ヘル、ソレハ何カト言ヘバ、今日ノ給食、此給食ノ施設ハ、私ハ實地ニ調ベマシテ、三河島ノ警察ノ役人ヤ、三河島ノ町長ヲシテ居ッタ人ニ就テ實地ニ調ベ、尙ホ目黑ノ在ノ方ノ郡部デモ調ベタノデアリマス、初メハ今日ハ朝飯ヲ食ベズニ來テ居ル者ガアルカト先生ガ言ッテモ、食ベズニ來テ居テモ手ヲ擧ゲナカッタガ、今デハ食ベテ來タ者マデモ手ヲ擧ゲルヤウニナッタト云フノハ、我ガ家庭ノ食事ヨリハ、學校デ貰フ方ガ或ハ子供ノ口ニ適スルノカ、便利ガアルノカ、洎々トシテ此給食兒童ガ殖エテ來テ居ル、中ニハ家庭デハ辨當

ヲ作ルコトガ出來ナイデ、ツイ麵麭デモ買ウテ食ヘト言ウテ御金ヲ出スノガ、三河島方面デハ多イノデス、其貰ウタ金ハ外ノ買食ヲシテ、サウシテ學校デハ矢張給食ヲ受ケル、既ニ困ッテモ學校カラ給食シテ居ルノハ一ツノ乞食デアル、其乞食ヲ恬トシテ恥ヂナイヤウニスルト云フコトハ、乞食教育デアル、働カザル者ハ食フベカラズ、人ハ自分ノ腕ニ依賴スベキモノデアル、其處ニ勞働ノ神聖ガアルノデアルカラシテ、若シ子供ガ愈〻食ヘナイナラバ、其食料ダケノ仕事ハ出來ナイデモ、何カ仕事ヲサセルトカ、小使ヲサセルトカ云フヤウナ、丁度此節勞働救濟ヲスル爲ニ、仕事ヲサセルヤウナ方法モ行ハレテ居ル、アレデモ實際ハ甚ダ拙イノモアルヤウデスケレドモ、何カ働キニ對スル報酬デ自ラ食フ、働カザル者ハ食フベカラズノ此人間努力ノ教育ヲセナケレバナラヌモノガ、働カザルドコロヂヤナイ、其食費ヲ父兄カラ貰ヒナガラ、其給食ヲ受ケル、給食ト云フノハ名ハ良イガ、一ツノ乞食デアル、是ハ私ハ食フ者——食ハレヌ者其者カラ言ヘバ氣ノ毒デアリマスケレドモ、天下ノ青年ヲシテ獨立自治ノ精神ヲ養ハンケレバナラヌト云フ上カラシテ、事柄ハ極メテ重大デアルト思フノデス、イマ日本人ノ最モ教育ニ力ヲ盡スベキハ、依賴心ヲ去ラシムルコトデアル、總テガ皆人ニ依賴シテ居ル、今日ノ一般カラ言ッタナラバ、マルデ政府ニ依賴シ、政府カラ保護ヲ受ケヨウ、補助ヲ取ラウト、各方面カラ政府ニ迫ッテ居ル、又政府ノ役所ノ中デモ、互ニ費用ノ分取ヲシヨウト、恰モ敵國ニ行ッテ敵ノ領地ヲ分取ヲスルガ如キ、荒スガ如キヤウナ、總テノ方面ニ、自分ガ此苦シイ所ヲドウシテ切拔ケルカト云フ精悍ナル氣力ヲ發揮スルコトハシナイデ、人ノ財布ニ賴ラウトスルコトハ、我ガ國民性ノ第一ノ缺點デアルト思フ、今日ノ給食方法ノ實際ノ有樣ノ如キハ、私ガ實地ニ調ベタ、是ハ非常ニ重大ナルコト、思ッテ自ラ調ベタ所ニ依ッテ見レバ、警察ノ警部デモ、斯ンナ馬鹿氣タコトハナイ、三河島町長ノ如キモ、斯ウシタ治〻ト乞食ヲ殖ヤサレルヤウナコトヲサレテハ堪ラヌト言ッテ、其實地ニ當ル人スラ驚ク位ノ有樣デアル、今三河島ハ東京市ニ入リマシテ、町長ハ居リマセヌガ、人ハ居リマス、是等ノ實際カラ見マシテモ、國家ノ費用ヲ以テ乞食ヲ教育シテ居ル、サウシテ玆ニ乞食ヲサスルナ、乞食ヲスナト言ウテ、乞食ヲドンく造リ出シ、一方ニハ乞食ヲ取締ルト云フノハ、文部ト內務トノ甚シキ矛盾デハナイカト思フノデアリマス、其點ハ決シテ文部省ノヤリ方ヲ攻擊スルトカ、內務ノ此法案ニ何カ異論ヲ挾マウト云フノデハナイノデアリマス、國家ノ重大ナル影響ノ上カラ考ヘマシテ、日本人ノ一般國民性ノ缺點ハ依賴心デアル、先ヅ此依賴心ヲ排除スルト云フコトガ、教育上是非ヤラナケレバナラヌ重大ナコト、思フノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ問題ニ對シテ、是ハ十分ニ御配慮ヲ願ヒタイ、內務省ニ於テモ、文部省ニ於テモ、民族ノ前途ヲ考ヘテ——私ハ切々憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、敢テ之ヲ御尋スル所以デアリマス

○東郷政府委員　只今荒川君カラ文部省ガ乞食ヲ奬勵スルヤウナ趣旨デヤッテ居ルト云フヤウナ御說ガアリマシタガ、ソレハ非常ナ御過言ダト思ヒマス、吾〻ガ所謂給食兒童ニ對シテ、給食ヲ致シマスノハ、貧困ニシテ就學其モノデサヘ出來ナイヤウナ困難ナ立場ニ在ル兒童ヲ、就學奬勵ノ趣旨デ以テ給食ヲスル、モウ一ツハ榮養ノ不十分ナル者ニ榮養ヲ與ヘル、所謂兒童擁護ノ目的ヲ以テ與ヘルコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ實際ニヤル場合ニハ、只今荒川君ノ御話ノヤウニ、色〻ナ點ニ於テ弊害モ生ジ易イノデスカラ、其點ハ特ニ注意スルコトニ致シテ居リマス、例ヘバ乞食根性ヲ助長スルト云フ御話デスガ、ヤリ方ガマズイト、サウ云フヤウナ弊害モアルコトデアリ、或ハ依賴心ヲ起サセマスシ、或ハ兒童ノ自尊心ヲ傷ケル、斯ウ云フヤウナ色〻ノ點ニ付キマシテハ能ク考慮致シマシテ、サウ云フ弊害ノナイヤウニ地方長官其他ニモ能ク通達ヲシ、方法等モ示シテ居ルノデアリマス、偶〻只今御話ノヤウニ、方法等ニ於テ缺點ガアッテ、サウ云フヤウナ非難ノアル所ガアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ全國ノ報告等ヲ見マスルト、良ク行ッテ居リマシテ、吾〻ノ此施設ノ目的ハ達シツヽアルト存ジテ居リマス、今御話ノヤウナ缺點ノアル所ガアリマスレバ、ソレ等ハ能ク調査致シマシテ、サウ云フ弊害ノナイヤウニ、今後ハ特ニ努力スル積リデアリマス、乞食養成ノ目的デヤッテ居ルノデナイト云フコトヲ、玆ニハッキリ申上ゲテ置キマス

○牧野委員長　御諮リ致シマス、マダ質問モ殘ッテ居リマスガ、暫時休憩シテ、午後二時カラ繼續致シマスカラ、質問ハ午後ニ御願ヒ致シマス

○荒川委員　チヨット簡單ニ申上ゲマス、父

兒ガ働イテ食ハセル物ヨリハ、學校デ食ハセル物ガ良イト云フコトガ、子供ニ直感ヲ與ヘルノデアリマスカラ、其點ニ於テ、乞食ヲ養成シナイヤウニスルニハ、直接ニ食物ヲ與ヘナイデ、何カ子供ニ仕事ヲ與ヘテ、ソレノ報酬トシテ食事料ヲ給スルコトニ致シ、尚一層進ンデ父兄ニ仕事ヲ與ヘテ、給食ト云フコトヲ間接ニスルヤウナ方法ヲ、研究サレタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○牧野委員長　是ニテ休憩致シマシテ、午後二時ヨリ開會致シマス

午前十一時五十四分休憩

午後二時三十分開議

○牧野委員長　午前ニ引續キ是ヨリ會議ヲ開キマス、兒童虐待防止法案ニ付テ審議ヲ致シマス

○中野(勇)委員　御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、此第二條ハ「因テ刑罰法令ニ觸レ又ハ觸ルヽ虞アル場合」ト云フコトニナッテ居リマスノデ「虐待シ又ハ著シク其ノ監護ヲ怠リ」ト云フ其場合ニ於テモ、刑罰法令ニ觸レ若クハ觸ルヽ處ト云フコトハ、何ノ必要ガアッテサウシタノデスカ、是ハ行政上ノ取扱カラ來テ居ルノデスカラ、此處ハモウ少シ明確ニシテ置キタイト私ハ思フノデス、ソレト同時ニ斯様ナ條項ハ、寧ロ削リタイト思ッテ居リマス、ドノ程度ガ虐待デ、ドノ程度ガ監護カ、實際問題トシテハ中々ムヅカシイカモ知レマセヌガ、ムヅカシイガ爲ニ法律ヲ斯ウシテ置ク必要ハナイト思ヒマス、此第二條ガ保護者ヲ罰スル規定ナラバ宜イケレドモ、サウデハナクテ兒童ヲ保護スルノガ目的ナノダカラ、兒童ヲ保護スル必要ガアルモノナラバ、保護者ノ爲シタ行爲ガ刑罰法令ニ觸レテモ觸レナクテモ、其點ハ眼中ニナイト思ヒマス

○丹羽政府委員　只今中野君ノ御話ノ、刑罰法令ニ觸レ又ハ觸ルヽ虞アルト云フコトハ、ナクトモ宜シイノデハナイカ、虐待ト云フ事實ダケヲ捉ヘレバ十分デハナイカト云フ御話デアリマス、御話ノ如ク本法ハ、決シテ虐待ヲシテ居ル者ヲ處置スル法律デナク、受ケル者ヲ保護スルノデスガ、虐待ト單ニ言ッタダケデハ色々ト程度モアリ、此法ヲ行政官ガ運用スル上ニ於テ、明瞭ナル規定ト考ヘルコトハ出來ナイ、殊ニ本件ハ親權者後見人ノヤウナ、直接世話ヲシテ居ル者ノ手カラ兒童ヲ引取リマシテ、之ヲ適當ナル施設若クハ家庭ニ入レテ保護シヨウ、サウナルト其執行ニ方リマシテハ、親權者或ハ後見人ノ權利ガ事實上制限ヲ受ケルコトニモナリマスカラ、其點ハ明瞭ニシテ置ク必要ガアル、就テハ如何ナルモノヲ保護スレバ宜イカト云フト、親ガ虐待ヲシテ、刑法其他ノ刑罰法令デ禁止シテアルヤウナコトマデヤル場合、是ハ其者ノ手カラ取ッテ保護スル、其手段タルヤ、例ヘバ暴行ヲ致シタトカ、或ハ傷害ヲスル、或ハ監禁ヲスル、或ハ姦淫ヲ強ユルト云フヤウナ程度ニ至ルト云フ時ニナッテ、初メテ保護責任アル者ノ手カラ引取ルコトガ、法ヲ適用シテ行ク所ノ順序トシテハ、適當デアルト云フ考カラ、之ヲ規定シタノデアリマシテ、決シテ親ガ刑罰法令ニ觸レルカ觸レナイカ、親ガ刑罰法令ニ觸レタカラドウシヨウト云フノデハナイケレドモ、サウ云フヤウナ事柄ニ依ッテ虐待ヲシテ、刑罰法令ニ觸レナイト云フコトヲ目途ト致シマシテ保護スルト云フコトガ、最モ正シク法ヲ運用サレル所以デアルト思ヒマス、更ニ進ンデ刑罰法令ニ觸レ、若クハ觸レル虞ノナイ者マデ引取ッタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御說ノヤウニ伺ハレルノデアリマスケレドモ、ソレハ行政官ガ强制シテ、子供ヲ引取ルト云フ場合ニハ、此程度ノ制限ガアルコトハ、最モ適當デアラウト思ヒマス、其以上ハ懇談デ親カラ引離ス、或ハ保護責任者カラ引離スト云フコトモ、適當ナル場合ガアラウト思ヒマスガ、權力ヲ用ヒテ引離スト云フコトハ、此程度ノ規定ガアルコトガ至當デアラウト考ヘテ居リマス

○中野(勇)委員　第二條ノ第三號ニ該當スベキ場合、卽チ厭デモ應デモ、保護者ノ手カラ引離ス場合ニハ、此規定ハ必要ガアルカモ知レマセヌガ、第一號ノ如キハ、單ニ訓誡ヲ與ヘルニ過ギナイ、極メテ輕イノデアリマス、或ハ二號ノ兒童ヲ保護スベキ責任アル者ニ對シ、條件ヲ附シテ兒童ノ監護ヲサセルノデアッテ、是ハ極ク程度ノ低イモノデアル、是ダケデモ第二條ニ依レバ「刑罰法令ニ觸レ又ハ觸ルヽ虞アル場合ニ」トアッテ、虞アル程度ニ達シテ居ル、父兄ニ訓誡ヲ加ヘテモ、何ノ效果ガアルカ、二號ヤ三號ト本文トノ間ニ於テ、甚ダ釣合ガ取レナイ、第一行政法規ニ斯ウ云フコトヲ規定スル必要ハナイト思フ、實際問題ハ實際問題トシテ任カシテ置ケバ宜イ、殊ニ一號ト二號トノ釣合カラ申シマシテモ、甚ダオカシイト思ヒマス、此條文ハ寧ロナイ方ガ宜イト思ヒマス、其方ガ法文ノ體裁カラ言ヒマシテモ、格好ガ宜イト思ヒマス、此點ハドウ御考ニナリマスカ

○丹羽政府委員　此第二條ノ一號、二號ト云フヤウナ比較的程度ノ輕イ處分ヲ致ス者モ、尚ホ刑罰法令ニ觸レ若クハ觸ルヽ虞ガアルト云フヤウナ、大キナ制限ヲ設ケル必要ハナイデハナイカト云フ御話ナノデアリマスガ、本法ノ趣旨ハ、第二條ノ第一號ノ本文ニ擧ゲテアルヤウナ程度ノ虐待ヲ受ケテ居リマス者ヲ、保護責任者カラ引取リマシテ、之ヲ適當ナ施設ニ預ケ、又ハ適當ナル家庭ニ預ケマシテ、サウシテ教育ヲ施シ、適當ナル監護ヲ施シ、之ヲ養育シテ行クト云フ點ニアルノデアリマス、即チ三號ガ固ヨリ主タルモノデアリ、又最後ノ目的ナルモノガ是等ノ保護責任者、殊ニ親權者、後見人ト云フヤウナ者ノ權利ヲ、事實上行使ガ出來ナイト云フヤウニスル處分デアリマスカラ、十分是等ノ權利ヲ尊重致シマシテ、事情ニ依ッテ訓誡ヲ與ヘルコトガ適當ナリトスル場合ハ之ヲ與ヘル、或ハ條件ヲ付シマシテ監護サセルトカ云フヤウナコトヲ致ス方ガ適當ナ時ハ、之ヲ致ス、併ナガラ到底其性情ガ改マル見込ガナイカラ、直ニ引離ス必要ガアルト云フ者ニ付キマシテハ、直ニ第三號ノ方法ヲ執ルノデアリマス、隨ヒマシテ、第一、第二ノ輕イ處分ヲ致シマスルノモ、結局ハ第三號ノ處分ヲ致スヤウナ者ニ付テ、唯其親權者、後見人等ノ性質ナリ何ナリヲ十分考察致シマシテ、サウシテ之ニ訓誡ヲ與ヘルナリ、適當ノ處置ヲ執ルト云フコトガ、實際問題トシテハ、適當ナル場合ガアルノデアリマスカラ、是等ノ規定ヲ置イタノデアリマス、而シテ是以下ノ者ニ對シマシテハ、事實上ノ取扱トシテ、本法ガ施行サレマスレバ、色々ノ保護團體等モ成立スルコトニナルト思フノデアリマスガ、サウ云フモノガ、事實上ノ行ヒトシテハ、是以下ノ人達ニ對シテハ、或ハ引取ルトカ或ハ訓誡ヲ與ヘルトカ致スコトニナルト思ヒマスケレドモ、權力ヲ用ヒテ處置ヲ致スト云フ點ニ付キマシテハ、此法文ノ程度ニ規定スルコトガ、至當ダト思フノデアリマス

○中野（勇）委員　ソレハサウ承ッテ置キマスガ、モウ一ツ伺ヒタイノハ、本法ハ固ヨリ行政法規デアリマシテ、刑罰法デハアリマセヌガ、併シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ、本法ニ於テモ處罰スル必要アリトシテ、第十一條ガ設ケラレテ居リマス、即チ「第七條ノ規定又ハ第八條第一項ノ規定ニ依ル禁止若ハ制限ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマス、只今モ御尋致シマシタ第二條ノ殊ニ第三號ニ當ル場合ハ、貰子デアルトカ或ハ繼子デアルトカ云フ場合ニ於テハ、多ク是ハ適用サルヽ場合デアラウガ、サウ云フヤウナ子供ヲ引取レバ、殆ド父兄ハ喜バナイ者ハアリマセヌ、可愛クナイカラ虐待スルノデアル、才前ハ虐待スルカラ引取ルト言ヘバ、ドウモ有難ウト言ッテ喜ブダケデアル、此場合ニ於テ行政罰ヲ課スル必要ハナイカ、第二條ニ「刑罰法令ニ觸レ又ハ觸ルル虞アル場合」トアリマスガ、私ハ斯樣ナ條文ハ必要デナイト云フ意見ヲ有ッテ居ルト同時ニ、第一號、第二號ノ場合ニハ、訓誡若クハ監護ト云フコトデ濟ミマセウケレドモ、第三號ノ如ク虐待ガ甚シクナッテ、到底其保護者ノ許ニ置イテハ面白クナイカラ、地方長官ガ之ヲ救護シナケレバナラヌト云フ必要アル場合ニ、引取ルト言ヘバ、向フハ喜ブノデアリマス、可愛クナイカラ虐待シテ居ルノデアリマスカラ、引取ッテ呉レバ、父兄ハ喜ブデアリマセウ、第七條ニ違反ニ對スル罰則ガアル以上ハ、之ニ對スル罰則モ設ケル必要ガアリハシナイカ、私ノ申スノハ、刑罰法令ハ別問題デアルガ、第七條ニ相對シテ、第二條ノ殊ニ第三號ニ對スル罰則ヲ設ケル御意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ、御伺ヒ致シマス

○丹羽政府委員　只今ノ御話ハ、虐待ヲスルノハ、實ハ其子供ガ自分ノ手許ニ居ナイコトヲ喜ブカラデアル、手許ニ居ルカラコソ之ヲ虐待スルノデアル、從テ虐待ヲスルノハ、手許カラ除カウト思ッテ虐待スルヤウナ親、其他ノ保護責任者ヲ處罰スル必要ガナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ思ヒマスガ、抑、此處ニ擧ゲテ居ル虐待ヲスルト云フヤウナ者ニ於テハ、大體暴行ヲスルトカ、監禁スルトカ、傷害ヲスルトカデ、殆ド總テノ者ガ其程度ガ進ミマスレバ、刑罰法令ニ皆觸レルヤウナ狀態ニ相成ルノデアリマス、而シテ實際ニ貰子ヤ繼子其他ノ虐待ノ起ル事實ヲ見マスト、必ズシモ地方長官ガ引取ルト申セバ、之ヲ喜ンデ引渡スト云フヤウナモノデハナイノデアリマシテ、偶、サウ云フモノガアルカモ知レマセヌガ、之ヲ虐待シテ何等カ收入ノ途ヲ圖ル、虐待ヲシテ過重ナル勞働ヲサセルトカ、乞食ヲサセルトカ、風琴彈キヲサセルト云フヤウナ事柄ト伴ッテ居ルモノガ多イノデアリマス、又假ニ單ニ母親ガ虐待シ、或ハ父親ガ之ヲ虐待スルヤウナ場合ガアリマシテモ、其家庭自體トシテハ其子供ヲ必ズシモ放シタクハナイ、置キナガラ之ヲ虐待シテ居ルト云フヤウナ、各種ノ複雜ナル事情ガアリマシ

テ、而モ虐待ヲ致シタ方ニ於テハ、結局其程度ガ上リマスレバ、刑罰法令ニ觸レルコトニナリマスカラ、特ニ此三號ノヤウナ場合ヲ特別ニ引拔イテ、之ニ罰則ヲ付スル必要ハナイト考ヘテ居リマス

○中野(勇)委員　尚ホ極端ニナレバ刑法其他ノ法規、殊ニ此七條ノ目的ノ下ニ虐待スル場合ニハ、其法ニ於テ處罰スルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、繼子苛メ、貰子苛メハサウ云フモノデハナイ、此七條ノ目的ノ爲ニヤルノデハナイ、又家庭的ノ問題デアルカラ、刑法上ノ處罰ガ果シテ適當ニ行ハレル否ヤハ問題デアル、殊ニ立證等ノ關係ニ於テ中々容易ナモノデハナイガ、サウ云フヤウニ七條ニモ該當シナイ、刑法ニモ該當シナイケレドモ、虐待シテ居ルト云フノハ實際ニアリ得ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ間ニ於テ虐待シテ居ルノデアリマス、別ニ利益ニ利用スル爲ニ虐待スルノデハナク、唯可愛クナイカラ、目障リダカラ虐待スルノデアリマスカラ、是ハドウカト思ッテ質問シタノデアリマス、多クノ場合ハ、或ハ政府委員ノ答辯ノ如クカモ知レマセヌガ、何レニモ該當シナイデ虐待ナリト認メナケレバナラヌ場合ガアリ得ルト思ヒマスカラ、特ニ其場合ニ對スル制裁規定ガナイデハナイカト云フコトヲ質問シタノデアリマス、私ノ質問ハ是デ打切リマス

○牧野委員長　御諮リ致シマスガ此程度ニ於テ御質問ガナケレバ、他ニマダ御出席ノナイ委員モアリマスカラ、略ゝ質問打切ニシテモ差支ナイモノト認メテ置クニシテモ、質問打切ノ體ニシナイデ、續行シタ方ガ宜イト考ヘマスガ如何デセウ

○山枡委員　一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○牧野委員長　ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時五十一分散會

昭和八年三月十四日印刷
昭和八年三月十五日發行
衆議院事務局
印刷者　民友社印刷所